

**OKI** *Open up your dreams*



株主のみなさまへ

第92期中間報告書

2015年度  
(自2015年4月1日 至2015年9月30日)

## 目次

株主のみなさまへ	2
2015年度第2四半期累計期間セグメント別概況(連結)	4
第2四半期連結決算の概要	5
トピックス	6
株式の状況／株主メモ	7
株主インフォメーション	8

※ 金額単位の表示：本中間報告書においては、億円単位未満を四捨五入しています。

### 見直しに関する注意事項

本報告書にはOKIの戦略、財務目標、技術、商品、サービス、業績などの将来予想に関する記述が含まれています。こうした記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、これらは必ずしも正しいとは限りません。また、これら将来予想に関する記述は、OKIの分析や予想を記述したもので、将来の業績を保証するものではありません。これらの記述はリスクや不確定要因を含んでおり、さまざまな要因により実際の結果と大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素よりOKIグループの経営に対しまして多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。第92期(2015年度)中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期累計期間のOKIグループの業績は、情報通信システム事業およびプリンター事業における物量減の影響などから、売上高は前年同期比58億円減少の2,230億円となりました。営業利益は、物量減やプリンター事業における為替の影響などにより、同30億円減少の36億円となりました。経常利益は、前年同期には営業外収支で為替差益があったものの今期は為替差損が発生したことなどにより同69億円減少の27億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、同94億円減少の9億円となりました。

通期の見直しにつきましては、当第2四半期累計期間の業況を踏まえ、前回公表値を修正いたしました。情報通信システム事業における国内市場向け事業は、堅調に推移しています。しかしながら、海外市場では中国販売パートナー向けATMや、ブラジル景気低迷による現地子会社の売上が減少すること、さらにプリンター事業における既存商品での価格競争激化や為替の影響などにより、前回公表計画比で減収減益となる見込みです。

これらにより、通期業績につきましては、売上高が前回公表比300億円減収の5,150億円、営業利益が同130億円減益の170億円、経常利益が同135億円減益の145億円、親会社株主に帰属する当期純利益が同120億円減益の100億円となる見込みです。

配当につきましては、当初計画どおり1株当たり2円の間配当を実施させていただきました。今期末につきましては、1株当たり3円の配当を行う予定です。OKIは、株主のみなさまへの安定的かつ継続的な利益還元を最重要課題として、引き続き取り組んでまいります。

今期の計画につきましては、足元の業況を鑑みて見直しをさせていただきます。しかしながら、中国ATMについては、市場自体は依然として成長基調にあり、従来の販売パートナー向けの売上は減少しますが、10月にアライアンスを発表した新しいパートナーとともに、今後も中国ATM事業の拡大を進めてまいります。またブラジルでは、経済環境が厳しい中でも大型の入札案件を落札しており、さらに国内では現金処理機が好調です。このようにメカトロシステムを中心に、2020年に向けての社会インフラの整備やインバウンドなどの需要を獲得しながら、情報通信システム事業の拡大を図ります。

また、プリンター事業やEMS事業ではM&Aによって事業拡大の基盤を整備するなど、今後の成長に向けた取り組みを着実に進めています。OKIは、見直しました今期計画を確実に達成すると



代表取締役社長

川崎 秀一

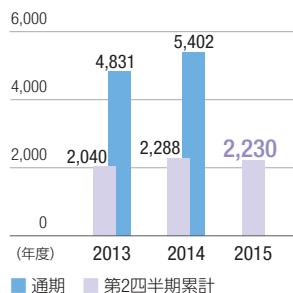
ともに、今後も「中期経営計画2016」の経営目標達成と将来の成長に向けて取り組んでまいります。

株主のみなさまには、これまでと変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

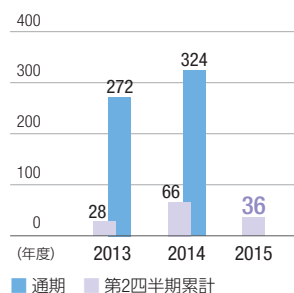
2015年12月

## 業績推移(連結)

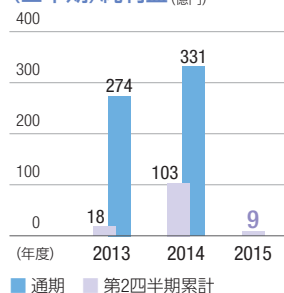
### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)



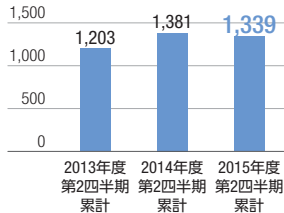
### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 (億円)



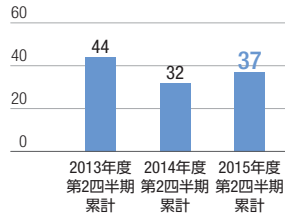
# 2015年度第2四半期累計期間セグメント別概況(連結)

## 情報通信システム

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

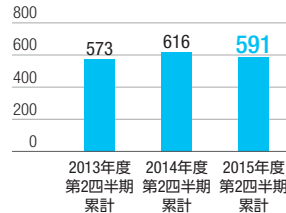


外部顧客に対する売上高は、1,339億円(前年同期比42億円、3.0%減少)となりました。ソリューション&サービスでは金融および法人向け案件が、社会システムでは道路交通関連システムや市町村向け防災システムが順調だったことから、それぞれ増収となりました。通信システムは、キャリア向け既存NW機器の販売収束影響により減収、メカトロシステムは、国内向け現金処理機は好調に推移したものの、中国販売パートナー向けATMやブラジル子会社の売上減により減収となりました。

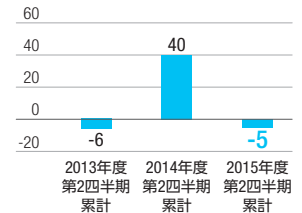
営業利益は、物量減の影響を固定費削減などで吸収し37億円(同5億円増加)となりました。

## プリンター

売上高 (億円)



営業利益 (億円)

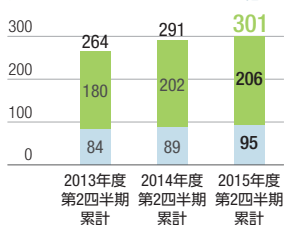


外部顧客に対する売上高は、591億円(前年同期比25億円、4.1%減少)となりました。カラーおよびモノクロLEDプリンターでは、新商品のA3カラーMFPをはじめとする戦略商品の販売は概ね順調だったものの、特にカラープリンターの既存商品が、欧米など先進国の市場縮小を受けて減少しました。加えて、相対的に低価格な商品では競合の価格攻勢に対し、収益性重視の方針から追従しなかったことも影響しました。

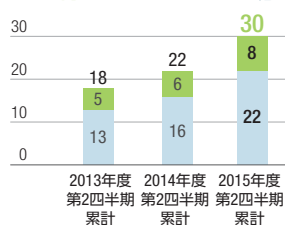
営業損失は、物量減や固定費の増加、為替の影響により5億円(同45億円悪化)となりました。

## EMS、その他

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



外部顧客に対する売上高は、EMS事業で206億円(前年同期比4億円、1.9%増加)、その他の事業で95億円(同6億円、6.3%増加)となりました。EMS事業では新規案件獲得やM&Aの効果により、その他の事業ではリードスイッチなどの部品関連が好調だったことにより、それぞれ増収となりました。

また、EMS事業の営業利益は8億円(同2億円増加)、その他の事業の営業利益は22億円(同6億円増加)となりました。

## 第2四半期連結決算の概要

### 損益計算書の要旨

(単位:億円)

科目	期別	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
		自2015年4月 1日 至2015年9月30日	自2014年4月 1日 至2014年9月30日
売上高		2,230	2,288
売上原価		1,648	1,709
販管費		546	513
営業利益		36	66
営業外収支		△ 9	30
経常利益		27	96
特別損益		1	△ 1
税引前利益		27	95
法人税等		27	△ 4
四半期純利益		1	98
非支配株主に帰属する 四半期純利益		△ 8	△ 4
親会社株主に帰属する 四半期純利益		9	103

### キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科目	期別	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
		自2015年4月 1日 至2015年9月30日	自2014年4月 1日 至2014年9月30日
I 営業キャッシュ・フロー		△ 35	230
II 投資キャッシュ・フロー		△ 92	△ 100
フリー・キャッシュ・フロー (I+II)		△ 127	130
III 財務キャッシュ・フロー		37	△ 84
キャッシュ・フロー計 (I+II+III)		△ 90	46
IV 現金同等物等の四半期末残高		445	560

※ 億円単位の数値の表示方法について:

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。

なお、フリー・キャッシュ・フローおよびキャッシュ・フロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています。

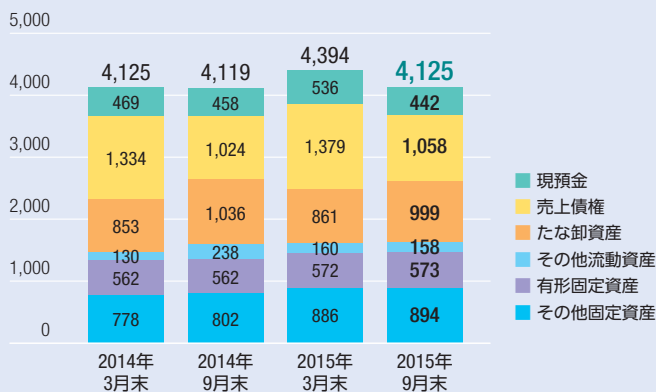
財務諸表につきましては、OKIのホームページに詳細を掲載しています。

ホームページアドレスは次のとおりです。

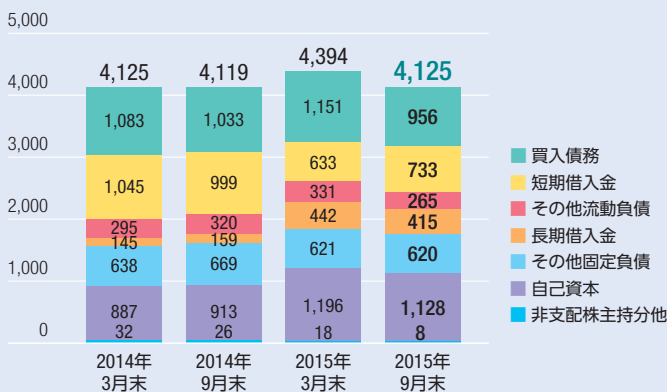
<http://www.oki.com/jp/ir/>

### 貸借対照表の要旨

#### 資産の部 (億円)



#### 負債・純資産の部 (億円)



# トピックス

## 国内初の自動手荷物預け機をANAへ納入

全日本空輸株式会社(ANA)に納入した自動手荷物預け機は、搭乗者が係員を介さず自身の操作で簡単に手荷物を預けることができる装置です。自動手荷物預け機によるカウンターを増やすことで手荷物受託の処理能力が向上し、搭乗者の待ち時間を短縮します。7月より羽田空港で運用を開始し、2015年度末までに計39台導入予定です。OKIはシステムインテグレーターとして、オランダ社製の本装置の仕様調整や技術支援などを行い、スムーズな導入に寄与しました。



自動手荷物預け機

## 「ドローン探知システム」を発売

空中音響技術を利用し、飛来するドローンを昼夜問わず探知できる「ドローン探知システム」を発売しました。本システムは、



ドローン探知システムの音響センサー部

ドローンの飛行音を収集・分析して接近を探知するほか、飛来する方位・仰角・距離を測定、通知することができます。また、カメラを組み込むことによる映像での確認、探知範囲の拡大やネットワークを使った遠隔監視など、要望に応じた柔軟なシステム設計を行うことが可能です。

## 国連「世界海の日」に中国で稚魚放流の活動を実施

沖電気実業(深圳)有限公司は、6月8日の国連「世界海の日(World Oceans Day)」に、NPO法人深圳市藍色海洋環境保護協会と共同で、海洋生態環境の保護と地域貢献を目的に稚魚放流活動を行いました。60名の従業員や家族が参加し、深圳市海洋局が指定した東山珍珠島で、黒鯛、マナガツオ、スズキなどの15万匹の稚魚を放ちました。



稚魚を放流する参加者

## 「音声とドキュメントの融合」でオフィスの業務効率化に貢献

中小規模オフィス向けビジネスホン「CrosCore®シリーズ」と「COREFIDO3」対応のA3カラーLED複合機を連携する、新機能を開発しました。複合機の作業状態や用紙切れ、消耗品の交換予告などを電話機へ通知する機能や、複合機で受信したFAXをスマートフォンで閲覧できる機能などを提供することで、



「CrosCoreシリーズ」とLED複合機「MC883dnwv」

社内業務の効率化や外出先での顧客対応の迅速化に貢献します。

## 百五銀行のATM画面リニューアルを実施



取引選択の新画面

株式会社百五銀行のATM全画面をリニューアルしました。地方銀行初となるユニバーサルデザインフォントによるリニューアルは、「ユーザビリティ(基本的な使いやすさ)」と「アクセシビリティ(高齢者や障がいのある人などへの配慮)」の向上につながります。このサービス品質の向上が同行の方針に沿うこと、短期間で高品質なシステム提供が可能などから採用されました。新画面は、OKI製の全ATM(約440台)に順次拡大していきます。

## 大判プリンター事業会社を設立

OKIデータは、セイコーインスツル株式会社グローバルに展開していた大判プリンター事業の譲渡を受け、「株式会社OKIデータ・インフォテック(旧株式会社セイコーアイ・インフォテック)」を設立しました。大型インクジェットプリンターをはじめとする新たな技術・開発力や、商品ラインアップ、販売チャネルを獲得したことで、印刷・流通・小売業界向け



設立式典での鏡開きの様子

にワンストップ・ソリューションを提供し、プロフェッショナル市場でのプリンター事業強化を図ります。

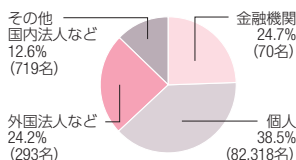
# 株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数： 2,400,000 千株  
 発行済株式の総数： 872,176 千株 (自己株式3,469千株含む)  
 株主数： 83,400 名

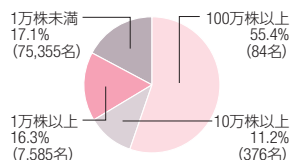
## 大株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
MSIP CLIENT SECURITIES	40,291	4.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	30,912	3.5
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	24,985	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	23,166	2.7
SMBC日興証券株式会社	18,185	2.1
沖電気グループ従業員持株会	17,125	2.0
上田八木短資株式会社	15,267	1.8
株式会社みずほ銀行	14,196	1.6
ヒューリック株式会社	14,076	1.6
明治安田生命保険相互会社	14,000	1.6

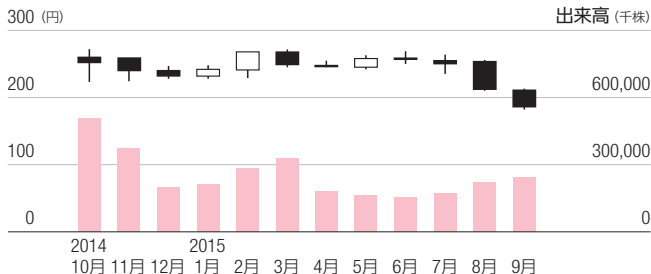
## 所有者別分布



## 所有株数別分布



## 株価推移と出来高推移



# 株主メモ

## 事業年度

4月1日から翌年3月31日

## 剰余金の配当の基準日

3月31日

なお中間配当を行うときの基準日は9月30日

## 定時株主総会

6月

## 同総会の議決権の基準日

3月31日

その他必要があるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。

## 1単元の株式数

1,000株

## 単元未満株式買取手数料

無料

2009年1月より、弊社の単元未満株式の買取請求に係る手数料を無料といたしました。なお、別途証券会社でのお手続き手数料がかかる場合があります。

## 公告方法

電子公告により行います (ホームページアドレス <http://www.oki.com/jp/>)。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載してこれを行います。

## 株式上場

東京証券取引所市場第1部

## 証券コード

6703

## 株主名簿管理人

みずほ信託銀行株式会社

東京都中央区八重洲1丁目2番1号

## 株式事務のお問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。

## 1,000株未満の株式(単元未満株式)をお持ちの株主様へのご案内

### ◆ 証券会社の口座でお持ちでない株主様

「単元未満株式買取請求取次依頼書」を同封いたしております。

必要事項をご記入・ご捺印のうえ、同封の封筒でみずほ信託銀行へご提出いただきますと、株式をご売却いただけます。

※ お問い合わせ先 みずほ信託銀行(フリーダイヤル 0120-288-324)

### ◆ 証券会社の口座をお持ちの株主様

単元未満部分について「単元未満株式買取請求」をしていただけます。  
お手続きにつきましては、口座をお持ちの証券会社にお問い合わせください。

## 配当金の振込指定のご案内

現在郵便局で「配当金領収証」と引き換えに配当金を受領されている株主様は、「銀行口座等への振込」を指定されますと、支払開始日に指定口座に配当金が入金され便利です。この機会に、「配当金の振込指定」をされるよう、おすすめいたします。振込指定の方法の詳細および手続きは、以下にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない場合 ⇒みずほ信託銀行(フリーダイヤル 0120-288-324)

証券会社に口座をお持ちの場合 ⇒口座をお持ちの証券会社

### ホームページ・ニュースメールのご案内

OKIグループのホームページでは、企業戦略や最新技術に基づいたソリューションなどの情報を幅広く掲載しています。株主・投資家のみなさま向けに、決算情報や証券取引所へのファイリング情報などもご提供しています。

また、メールアドレスをご登録いただいた方に、ニュースメールとして株主・投資家のみなさま向け情報を随時配信しています。ぜひお申し込みください。

● 投資家向けホームページ <http://www.oki.com/jp/ir/> ● ニュースメール登録 <http://www.oki.com/jp/ir/nm/>

## 沖電気工業株式会社

<http://www.oki.com/jp/>

本 社：〒105-8460 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号(虎ノ門ファーストガーデン)  
ビジネスセンター：〒108-8551 東京都港区芝浦4丁目10番16号

TEL. (03)3501-3111 (代表)

TEL. (03)3454-2111 (大代)

※ 記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。